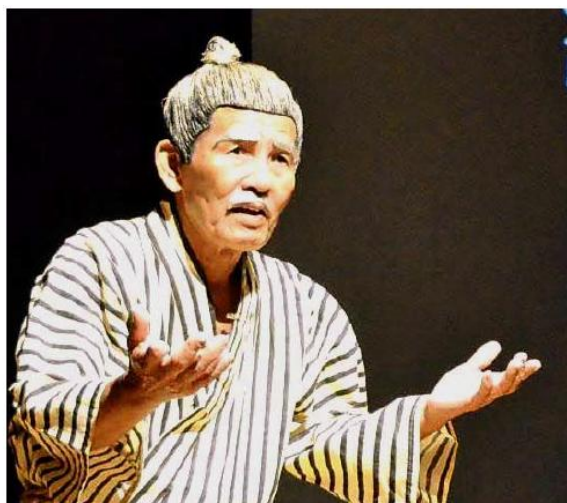


住みよい沖縄を守るため「怖どろさ、恥かさ、大事」を忘れないように呼び掛けた親川考喜さん14日、読谷村文化センター鳳ホール



## 34組堂々と「語やびら」読谷で大会



【読谷】18日のしまくとろばの「しまくとろば語やびら大会」(県文化協会主催)が14日、読谷村文化センター鳳ホールで開かれた。幼稚園児から大人まで34組49人が地域に伝わる民話や戦争体験、幼いころの思い出などを、それぞれが住む地域の言葉で堂々と発表した。明治時代に母が仕立てた着物

を身に着けて舞台上上がった比嘉静江さんは、先祖から伝わる黄金言葉を発表した。「うぬてーしちな ちぬんかい あんまーぬ ぬくむい かんじやびーん(この大切な着物に母のぬくもりを感じます)」と語ると思わず涙があふれた。

南風原町文化協会推薦の野原徹一さんは「わらびじぶんと題し、子供のころの思い出を発表し、会場の笑いを誘った。